

## 会社概要

プロモトゥール有限会社 (Promotur s.r.l.) は、1974年に設立し、観光旅行、出張、インセンティブ旅行をお手伝いし、会議、イベントをオーガナイズいたします。

現在トリノに3店舗あり、40人以上の優秀なスタッフが皆様のご要望にお答えいたします。

プロモトゥールは、イタリアの最も重要な19の旅行代理店が加盟するクラブ、G.E.B.T.A. (Guild of European Business Travel Agents 欧州ビジネス旅行代理店組合)の一つである、ネットワーク“TTS-ウェルカム・グループ”を創立したメンバーで、“トリノ市と県の観光”に登録するインカミング・オペレーターです。素晴らしいぶどう畑を巡る“トリノのロイヤル・ワインロード”や地域プロモーションの指導者組織であり、トリノ県の豊かな文化遺産をご紹介します。また、プロモトゥールは、120年間イタリアの風景の美しさを守ってきたイタリア・ツーリング・クラブの最初の支店です。

40年間の活動でプロモトゥールは、まだあまり知られていないこの素晴らしい州の美しさを紹介し、普段一般に公開されない古い高貴な邸宅や館をご覧頂くオリジナルツアー“宮殿とお城”など、お客様をピエモンテ中くまなくご案内いたしております。

(世界遺産“サヴォイア王家の王宮群”に隣接し、城や大邸宅があり、まだ貴族階級が住んでおり、そこには芸術作品があり、希少な美しい庭園に囲まれています。)

プロモトゥールは、お客様のあらゆるニーズにお応えします。

日本からのお客様のために、プロモトゥールは、トリノ県に3名存在する日本語対応ガイドの協力により、皆様によりふさわしい行程をお勧めすることができます。ドナテッラ・フェラーリス、アンナ・パヴァン、シルヴィア・コルデーロです。

### ツアーガイド紹介

ドナテッラ・フェラーリス Donatella Ferraris

トリノ出身。トリノ大学 日本語及び日本文学学科を卒業。観光学で修士号習得。

ツアーガイド資格獲得。

対応言語：イタリア語、フランス語、英語、日本語。

アンナ・パヴァン Anna Pavan

ヴェネツィア出身。カ・フォスカリ大学 日本語通訳・翻訳学科を卒業。

その後トリノへ移転。

ツアーガイド資格獲得。

対応言語：イタリア語、英語、日本語。

シルヴィア・コルデーロ Silvia Cordero

トリノ出身。トリノ大学 日本語及び日本文学学科を卒業。観光学で修士号習得。

ツアーガイド資格獲得。

対応言語：イタリア語、英語、日本語。

プロモトゥールは、皆様のご注文に応じ、ご満足頂ける郷土料理のレストラン、近場の温泉、歴史的ブティックやバスタブ付の部屋のあるホテル（イタリアのホテルは、シャワーのみの部屋が多い）などを紹介し、忘れられない滞在を提案いたします。

スポーツ好きの方には、サッカーの試合観戦チケット、オペラ好きの方には、劇場のチケットの購入もいたします。

プロモトゥールは、国際先進アジア研究専門学校、CESMEOにチケットを調達しており、さらに日系企業の日本への”特典旅行“を何度も企画し、外国人を魅了するその魔法と優雅さを知るべく金の屋根の国日本にイタリアからお客様を送っています。

数多くの活動のうち、近年行ったものを紹介いたします。

- 2004年 王宮での“イタリアーフランス フォーラム”。両国の外務大臣参加。I.S.P.I. (国際政治研究所)協力。
- 2006年 S.C.I. パネルシンポジウム。 Alenia とN.A.T.O.協力
- 2008年 第31回 A.D.S.I. (イタリア歴史的家屋保護協会)全国会議
- 2011年 イタリアエンジニア団体全国会議、ダンテ・アリギエーリ協会国際会議、イタリア料理アカデミー全国集会の照会元。

“イタリアーレバノン協力会議”、インドの政府官僚が参加しC.E.I.P. (ピエモンテ国際貿易センター)がオーガナイズした“ピエモンテとインドの会談”、F.E.A.M.A. (ヨーロッパ航空宇宙市場研究フォーラム)、などここ3年、様々な会議に必要な通訳を調達。

プロモトゥールは、世界のフェラーリ“Raids”の照会元です。“Panamerican 2006”、“Relay 2007”、“Magic India Discovery 2008”と過去4年の間に新車の“Media Test Drive”をイタリアの幾つかの地域でオーガナイズしました。

インフォメーション:

Promotur s.r.l.  
Piazza Pitagora 9  
10137 Torino  
tel 011 301 88 88  
fax 011 3091201  
incentive@promoturviaggi.it

## トリノ

トリノは、イタリア統一後、最初の首都となりました。そして今日、街にはサヴォイア家の住居を見ることができ、それらは世界遺産に指定されています。17、18世紀の壮大で完璧な建築物であり、当時の絶対君主制をうかがうことができます。

トリノはイタリアの北に位置し、フランスに近く、アルプスの山々に囲まれています。その山では、2006年に冬季オリンピックが開催されました。建築家のル・コルビュジエは、トリノは”世界で最も自然が美しい場所に位置している“と言いました。多くの公園、並木道、小さな湖に囲まれ、スキー場まで車で1時間、リグーリアの海までは2時間です。

## エクスカーション

### “トリノバロック”: 王宮とエジプト博物館 一日観光

日本語対応ガイドと落ち合い、徒歩にてトリノの中心を見学。サンカルロ広場にてStopー広場の中心に公国をシャンベリーからトリノに移したサヴォイア家のエマヌエレ・フィルベルトの像があります。建築家カステッラモンテが設計したこの広場は、その完璧なバランスの良さで広く知られており”トリノのサロン“と呼ばれています。そこから街の中心王宮広場、マダーマ宮殿、サン・ロレンツォ教会に向かいます。王宮(世界遺産)見学、17世紀の壮大な建造物のガイドツアー。サヴォイア公爵、サルデニア王国の王様、そして1865年までイタリア国王の住居でした。建物の中の部屋を見ることができます。豪華に装飾され、17世紀から20世紀の家具が置かれ、サヴォイア家の王様たちの好みの変化がわかります。家具だけでなく、時計、陶器、銀製品などもあります。王宮の入り口近くに建築家グアリーノ・グアリーニの傑作サン・ロレンツォ教会があります。1557年サヴォイア家がスペインのカルロ5世と同盟を結んでいた頃のサン・クインティーノの戦いにおけるフランスからの勝利を記念して建てられました。

そこからカリニャーノ広場に向かい、一部はまだ修復中ですが、内装を一新したばかりのエジプト博物館を見学します。博物館は世界で最も古い創設です。カイロにつぎ世界で2番目に重要な博物館で、1824年カルロ・フェリーチェによって創設され、エジプトのフランス領事のコレクションとベルナルディーノ・ドロベッティが発掘したもので構成されています。コレクションはエルネスト・スキアッパレリによって増やされ、今日なお古代エジプト博物館財団と文化財・文化活動省の30年契約によって広がっています。博物館には、常に大勢の見学者が訪れています。

19世紀の様式のカルロ・アルベルト広場見学。徒歩にてホテルに戻る。

## ヴェナリア宮殿 半日観光

日本語対応ガイドと落ち合い、プライベートバスにてヴェナリア宮殿に向かいます。

宮殿は、1658年サヴォイア家のカルロ・エマヌエレ公爵のために建築家アメデオ・ディ・カステッラモンテによって設計されました。宮殿は狩猟の神ディアナに捧げられ、フランスのヴェルサイユ宮殿はその建設時にこの宮殿を頭において設計されました。内部の数多くの部屋を見学しますが、中でも”ディアナの回廊“は際立っています。建築家ガローベによって建設され、後に建築家ユバーラによって再建築されました。回廊は80mの長さで、華美な漆喰の装飾に飾られた楕円形の窓が連なります。このコースは、宮殿と1500年から1700年のイタリア王室サヴォイアの歴史を物語ります。

宮殿は、1997年から世界遺産に指定されています。

## ランゲ地方、ブドウ畑とお城 一日観光

日本語対応ガイドと落ち合い、プライベートバスにて、クネオ県とアスティ県の間、なだらかな丘陵が特徴的で歴史的なランゲ地方に出発。

ラッコニジにてStop。カルロ・アルベルトのお気に入り建築家パラージョ・パラージ設計の夏の宮殿ラッコニジ城見学。ザビエル・クルテン設計の公園を通り、チーズを作った”マルガリア“、礼拝堂、温室を見学します。（世界遺産）

ブラを過ぎてすぐアルバに到着します。徒歩にて重要な建物で立ち止まりながら旧市街を散策します：1400年代の大聖堂、隣接して13世紀のロマネスク様式の鐘楼があります。近くにサン・ドメニコ教会があります。1200年代後半に建てられました。ここで小休憩をします。アステジアーナ塔、中世のロッジャ・デイ・メルカンティ、ゴシック様式のテラコッタの装飾をほどこした美しい家などがあるリゾルジメント広場のバールやレストランでご自由にお休みください。州立ワインショップのある有名な城、グリーンザーネ・カヴールに向かって出発。昼食フリータイム。”ワインの王様“と呼ばれるバローロに向かって出発。ワイン博物館”WiMu“になったファッレッティ公爵のお城を見学、内装はモーレ・アントネッリアーナを手がけた博物館デザイナー、フランソワ・コンフィーノです。魅力的な行程は最上階から始まり、下の1982年から昔のワイン貯蔵庫に設置された州立ワインショップまで5階に分かれています。

セッラルンガ・ダルバに向かいます。典型的な中世の町で、戦いの時住民たちが城に入ることを容易にするため、道と家が同心円状になっています。ここは、食後酒であらゆる痛みの特効薬でもある素晴らしいバローロ・キナートで知られています：バローロがベースで、そこにアルコール、砂糖、キーナ・カリッサイアを中心とする薬草を加えてつくられます。

トリノに戻り、ガイドと別れツアー終了。

## “中世”のヴァル・ディ・スーザ 一日観光

日本語対応ガイドと落ち合い、プライベートバスにて、2006年冬季オリンピックの競技地として外国に知られるようになったヴァル・ディ・スーザに向かいます。歴史的なフランチェジーナ街道に沿い、聖アントニオ・ディ・ランベルソ修道院に到着。15世紀のG.ヤクエリオによる素晴らしい一連のフレスコ画を鑑賞。

イタリア北部の有名なベネディクト修道院の一つであり、ヨーロッパで最大のロマネスク建造物の一つであるサクラ・ディ・サン・ミケーレ僧院に向かいます。983年から987年の間に巡礼者の必要性と文化のため、ノルマンディーのモン・サン・ミシェルとガルガーノの聖地サン・ミケーレ・アルカンジェロの中心地点に建てられ、聖ミカエルを信仰する大勢の人々が足繁く通う場所となりました。

スーザに向かい、昼食フリータイム。

ローマ時代と中世の重要な遺跡を見るパノラミック市内ツアー。

アヴィリアーナの湖で小休憩し、トリノに戻ります。

ガイドと別れ、ツアー終了。

## トリノの一流会社 一日観光

日本語対応ガイドと落ち合い、プライベートバスにてLavazzaに向かいます。施設内の見学とおいしいコーヒーの試飲。その後トリノ南部の郊外を通り、ペンで有名な“Aurora”の歴史的工場に立ち寄ります。テストーナに向かい、Martini & Rossi に到着。ワイン博物館見学、ワインに関するローマ時代の出土品も見られます。最後に有名な定番食前酒の試飲。

山の手のレストランにて昼食。

午後、風景を楽しみながらトリノの街に下り、新聞社“La Stampa”の作業場に到着。見学は夕方遅くになりますが、輪転機は動いており、新聞社の技術部門の先駆的な作業を知ることとはとても興味深いです。

18時トリノに到着。

## トリノ、東洋の街 一日観光

日本語対応ガイドと落ち合い、トリノの北部にあり中世の特色の町イヴレアに向かいます。歴史的な中心街のパノラミックツアー、30年間の修復後2014年1月にオープンしたガルダ博物館見学。博物館のコレクション：新石器時代から中世までの考古学的コレクション、15世紀から20世紀の絵画のクロップコレクション、東洋絵画。

そして最後のコレクションは、ピエール・アレッサンドロ・ガルダの個人コレクション(日本から来た作品が500点以上)と中国とその他のアジア諸国の作品のジュジィアナ宮殿コレクションの所産。

街の山の手を通りながらトリノに戻る。途中見晴らしの良い“山の博物館 ドゥーカ・デッリ・アブルツィ”でStop。博物館の簡単な見学、世界の山々を一堂に集結するという考えをもとにつくられ、23の常設展示スペースがあります。アルピニストであり何度もラダックの山歩きをした探検家でもあるマリオ・ピアチェンツァのコレクションを見ます。最後にトリノの中心にあるMAOに向かいます。東洋美術の博物館で、アジア各地の約1500点の作品が展示されています。大きなアジア大陸を5つに分割した5つのギャラリーがあります：南アジア、中国、ヒマラヤ地域、日本、中央アジアのイスラム諸国。旧市街通りを散策、ホテルに戻ります。

